

利子助成交付対象者の経営内容と投資

平成 23 年度前半の利子助成交付対象者の経営状況と投資内容

(農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業)

- 1 . 農業近代化資金の投資内容 (農業者戸別所得補償制度関連を含む)
- 2 . スーパー L 資金の投資内容 (農業者戸別所得補償制度関連を含む)
- 3 . 資金使途と経営部門の関係
- 4 . 建物・施設取得の経営形態別内訳
- 5 . 農機具取得の経営形態別内訳

平成 22 年度利子助成交付対象者の経営内容

(農山漁村振興緊急対策利子助成金等交付事業)

- 1 . 経営規模
- 2 . 投資と借入
- 3 . 個人経営の概況
- 4 . 法人経営の概況
- 5 . 個人経営と法人経営の生産性等の比較
- 6 . 経営計画

資料編

平成 23 年度利子助成事業の評価分析結果について

平成 24 年 3 月
(財)農林水産長期金融協会

当協会が受託した利子助成事業が農業者の経営改善等に果たす役割や効果を明らかにするため、「平成 23 年度前半の利子助成交付対象者の経営状況と投資動向」と「平成 22 年度の利子助成交付対象者の経営の内容」を整理分析しました。

本事業の的確かつ効果的な運営に資するため、農林水産省に報告し、また利子助成取扱農協・銀行等融資機関、利子助成関連機関の都道府県、関連団体、地方農政局に送付しました。

市町村等利子助成関連機関や認定農業者の経営改善など関係者に広く役立つよう、当協会ホームページの「利子助成事業の成果」に掲載しましたので、他の報告書と併せて参照して下さい。

平成 23 年度前半の利子助成交付対象者の経営状況と投資内容

平成 24 年 3 月
(財)農林水産長期金融協会

当協会が実施した『平成 23 年度農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業』により交付を決定した利子助成対象者の経営状況と投資内容を把握分析した。

利子助成事業の事業効果として、農業者の自主性と創意工夫を活かした経営改善を促進する利子助成の内容を明らかにし、本事業の的確かつ効果的な運営に資することを目的としている。

要旨

認定農業者が借り入れる農業近代化資金とスーパー L 資金については、平成 19 年度から 21 年度までは融資全期間の無利子化措置が実施され、22 年度からは貸付当初 5 年間に限った無利子化措置に変更されたが、23 年度前半の利子助成対象者の投資動向は次のとおり。

19～21 年度の融資全期間の無利子化措置で利子助成交付決定件数は倍増し、農家の規模拡大と経営改善意欲に十分応えた。

22 年度からの貸付当初 5 年間の無利子化措置でも、農業近代化資金は無利子化措置の始まる前の 18 年度の件数を大きく超え、L 資金は「500 万円以下の通常助成分」が利子助成対象では無くなったものの無利子資金分の利子助成件数は増加するなど、引き続き資金需要は高かった。

23 年度前半も、利子助成枠の制限があるものの、農業近代化資金、L 資金ともに前年同期を上回って推移してきており、引き続き、規模拡大と経営改善意欲に応え、農家の経費負担減に大きく貢献している。

投資目的の動向については、21 年度までの無利子化措置導入下ではほとんどの資金使途で大きく増加し、特に著しかったのは更新期と重なった農業機械の購入であった。

22 年度も農業近代化資金は農業機械の割合が半数を占め、このほか家畜の購入が増え、L 資金では個人の農地取得が 4 割を占め、法人は建物・施設が減り、「その他：飼料代、短期運転資金、育成費等」が増えた。

23 年度前半については、農業近代化資金は農業機械の割合が更に増加し、家畜の購入が減少したほかは大きな変化はなく、L 資金は前年同様、個人の農地取得が 4 割を占め、法人は更に建物・施設が減り、「その他」が増えた。

22 年度は、個人経営では平均借入額が若干低下した程度であったが、法人経営では L 資金の平均借入額が大きく減少し、かつ投資期間の短い家畜購入の平均借入額が上昇した一方、投資期間の長い建物・施設等の平均投資額が低下するなど、借入額の大きな法人経営では投資額や投資期間に 5 年間無利子に変更された影響がうかがえた。

23 年度前半も両資金ともに平均借入額が減少し、特に L 資金の法人では投資期間の短い家畜購入などの平均借入額も減少している。

個人、法人ともに売上規模の大きな利子助成対象者が多いことは変わらない。

主食用米生産に係わる農業者戸別所得補償制度対象者に対する利子助成は、無利子資金借入者全体の 3 割、稲作農家の無利子資金借入農家の 9 割近くを占める。資金使途としては農機具取得と農地取得が多く、主食用米の生産拡大と経営改善に貢献している。

目次

概要（前年度との比較）	
1 利子助成交付決定件数の動き	3
2 借入額別割合	3
3 資金使途別割合	4
4 経営部門別割合	5
5 農業経営規模別割合	7
平成 23 年度前半の利子助成交付対象者の経営状況と投資内容	
1 農業近代化資金の投資内容（農業者戸別所得補償制度関連を含む）.....	8
2 スーパー L 資金の投資内容（農業者戸別所得補償制度関連を含む）.....	12
3 資金使途と経営部門の関係	
（1）農業近代化資金	15
（2）スーパー L 資金	16
4 建物・施設取得の経営形態別内訳	17
5 農機具取得の経営形態別内訳	18
（資料）本分析における資金使途の例示	20

（注）分析データの取り方

平成 23 年 10 月までの利子助成交付対象者の経営改善資金計画書のデータである。
経営改善資金計画書に記載のない場合は不明としたため項目ごとの合計値は異なる
（特に、簡素化様式では記載されていない場合がある）。

同一の借入時に複数の資金使途（投資目的）がある場合は、最も大きな借入金の投資
目的を採用した。

例えば、1 回の借入で土地改良、農機具取得等複数の投資目的を達成した場合で、最
も大きな投資金額が農機具取得であれば、資金使途は農機具取得とした。

スーパー L 資金の利子助成対象は 500 万円超の 5 年間無利子化措置に限られたが、他
の申請案件と併せて 500 万円超になる場合は認定されるため、500 万円以下のケースも 1
件として計上した。

農業近代化資金の無利子資金も本来 500 万円超に限られるが、同様に取り扱った。

概要

1. 利子助成交付決定件数の動き

・利子助成交付決定件数は無利子化措置導入により、19年度に倍増し、その勢いは3年続いた。22年度は無利子化期間が貸付当初5年間に限定されたが、農業近代化資金は無利子化措置導入前の18年度を上回り、L資金は通常助成分はなくなったものの、無利子資金分は増加するなど引き続き根強い資金需要があった。

23年度前半は、農業近代化資金、L資金ともに交付対象件数、交付対象貸付金額は前年同期を上回って推移している

第1表 利子助成交付決定件数（上段：件）金額（下段：億円）

	農業近代化資金				L資金				合計		
	無利子	省エネ	通常助成	合計	無利子	省エネ	通常助成	合計	無利子	通常助成	合計
18	-	-	3089	3089	-	-	2343	2343	-	5432	5432
19	2642	-	1966	4608	4912	-	770	5682	7554	2736	10290
20	2771	103	1550	4424	4346	1138	968	6452	8358	2518	10876
21	1080	1114	1801	3995	1317	1533	1389	4239	5044	3190	8234
22	1954	-	1871	3825	3309	-	-	3309	5263	1871	7134
	182	-	51	232	834	-	-	834	1015	51	1066
うち 前半	778	-	797	1575	1095	-	-	1095	1873	797	2670
	66	-	21	87	217	-	-	217	283	21	303
23 前半	762	-	879	1641	1178	-	-	1178	1940	879	2819
	64	-	24	89	226	-	-	226	291	24	315

2. 借入額別割合

・個人経営（以下、個人）では、農業近代化資金は通常助成である「500万円以下」が半数を占め、L資金は利子助成対象から「500万円以下」が外れたため、「500超～1000万円以下」が半数以上を占める。法人経営（以下、法人）では、L資金の高額借入者層の割合が低下した。

第2表 借入額別件数割合

借入額別 件数割合	個人経営				法人経営			
	農業近代化資金		L資金		農業近代化資金		L資金	
	22	23前半	22	23前半	22	23前半	22	23前半
500万円以下	53	55	2	1	25	28	1	0
500超～1千	36	37	57	60	42	45	30	35
1千超～2千	12	8	25	26	17	19	24	26
2千超～3千			7	8	7	3	11	15
3千超～4千			3	2	10	5	4	4
4千超～5千			2	1			6	5
5千超～1億			4	2			10	8
1億円超			0	1			14	7

（注）22年度のL資金に「500万円以下」があるのは、他の申請案件と併せて500万円超になる場合は無利子と認定されるため、500万円以下のケースも1件として計上したため

3. 資金使途別件数割合

- ・件数割合でみると、個人では農業近代化資金は農機具取得、L資金は農地取得が半数を占めるなど前年度と大きな違いはない。強いて言えば、農業近代化資金は農機具取得が増加し、家畜の購入が減少し、L資金は建物・施設が減少した。法人では農業近代化資金は農機具取得が半数を占め、L資金は「その他：飼料代、短期運転資金、育成費等」の割合が増加した。
- ・個人では、平均借入額は前年度より低下し、特徴的なところでは近代化資金は家畜の購入額が低下し、L資金は逆に上昇した。借入額割合でみると、農業近代化資金で農機具取得、建物・施設が多く、L資金で農地取得、建物・施設が多い。
- ・法人では、平均借入額はL資金で大きく低下している。特に、建物・施設と農地取得の平均借入額が低下している。借入額割合でみると、法人は建物・施設が半数を占めるが、その割合は低下し、「その他」と家畜の購入が増加した。

第3表 資金使途別件数割合

資金使途別 件数割合	個人経営				法人経営			
	農業近代化資金		L資金		農業近代化資金		L資金	
	22	23前半	22	23前半	22	23前半	22	23前半
土地改良	1	0	0	0	1	1	0	1
建物・施設	32	32	22	15	29	28	33	24
農機具取得	50	57	16	15	53	55	12	11
運搬用機具	5	3	0	0	2	1	0	0
果樹等の植栽	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	10	4	5	9	9	9	9	13
長期運転資金	2	2	2	1	1	1	2	1
農地取得	0	0	44	42	0	0	16	14
その他	1	2	11	17	5	6	28	35

第4表 資金使途別平均借入額(万円)、借入額割合

個人経営 資金使途別 平均借入額	22				23 前半			
	農業近代化資金		L資金		農業近代化資金		L資金	
	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合
全体	536	100	1456	100	495	100	1340	100
土地改良	173	0.2	606	0.1	534	0.4	510	0.0
建物・施設の取得	545	32.7	2388	36.1	554	36.3	2245	25.9
農機具取得	465	43.5	868	9.6	457	52.6	915	10.5
運搬用機具の取得	195	1.7	583	0.1	151	0.9	675	0.1
果樹等の植栽育成	175	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
家畜の購入	1081	19.4	2036	6.5	758	6.1	2437	16.2
長期運転資金	586	1.9	1161	1.5	799	2.5	1243	1.1
農地取得	0	0.0	1145	34.9	0	0.0	1069	33.3
その他	330	0.7	1545	11.3	340	1.1	1018	12.9

法人経営 資金使途別 平均借入額	22				23 前半			
	農業近代化資金		L 資金		農業近代化資金		L 資金	
	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合	平均 借入額	借入額 割合
全体	1143	100	5110	100	914	100	3778	100
土地改良	1121	0.7	380	0.0	1542	1.0	5223	0.8
建物・施設の取得	1594	40.9	8204	52.6	1082	32.8	7470	48.3
農機具取得	747	34.5	1276	3.0	689	41.7	951	2.9
運搬用機具の取得	514	0.9	637	0.0	239	0.3	2160	0.2
果樹等の植栽育成	0	0	2000	0.0	0	0.0	400	0.0
家畜の購入	2124	16.6	7981	13.6	1849	18.3	4399	15.4
長期運転資金	1229	1.2	5304	2.2	3500	2.2	1263	0.5
農地取得	0	0	1861	5.7	0	0.0	2029	7.3
その他	1216	5.2	4158	22.7	619	3.8	2685	24.7

4 . 経営部門別割合

- ・ 農業近代化資金は耕種部門、L 資金は法人を中心に畜産部門の割合が高いのはこれまでと同じ。農業近代化資金では、これまで同様、個人は施設野菜と稲作が多く、法人は稲作が半数になった。L 資金も、個人、法人とも稲作が多いものの、個人は酪農、法人は肉用牛肥育等の畜産、加工部門などの「その他」が多くなる。

第5表 経営部門別件数割合

経営部門別 件数割合	個人経営				法人経営			
	農業近代化資金		L 資金		農業近代化資金		L 資金	
	22	23前半	22	23前半	22	23前半	22	23前半
稲作	21	23	31	31	42	50	19	24
畑作	5	6	9	8	6	4	5	2
露地野菜	12	15	12	12	6	8	7	9
施設野菜	23	26	6	10	9	7	6	11
露地果樹	5	4	3	2	1	0	3	1
施設花き	7	5	5	5	3	5	3	4
工芸作物	3	1	1	2	0	1	0	0
茶	3	3	1	1	5	3	1	3
酪農	7	6	17	12	7	9	13	6
肉用牛肥育	9	3	6	9	8	3	14	12
肉用牛繁殖	3	6	2	1	1	1	1	1
養豚	0	0	2	2	2	3	9	5
採卵鶏	0	0	1	0	1	2	6	5
鶏肉	0	1	1	1	0	1	4	3
きのこ	1	0	0	1	3	1	4	4
その他	1	1	2	3	6	3	7	10

・平均借入額については、個人は、農業近代化資金では肉用牛肥育が大きく減少し、採卵鶏が増加したほかは大きな変化がなく、L資金ではきのこで大きく減少したのを始め、多く経営部門で減少した。

借入額割合でみると、農業近代化資金では稲作、施設野菜が増え、L資金では肉用牛肥育が増えたものの、稲作、酪農が多いことには変わりがない。

・法人の平均借入額は、農業近代化資金では多くの経営部門で低下したが、L資金では特に大きく低下した。L資金ではきのこなど増加したものもあるが、採卵鶏、鶏肉での低下が大きく経営部門間での格差が縮小した。

借入額割合でみると、農業近代化資金では稲作が大きく増えて4割を占めたものの、L資金では畜産の割合が高くなり、稲作等耕種の割合は低下する。

第6表 経営部門別平均借入額(万円)、借入額割合

個人経営	22				23 前半			
	農業近代化資金		L 資金		農業近代化資金		L 資金	
	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合
全体	536	100	1456	100	495	100	1340	100
稲作	567	22.4	1034	22.0	569	26.8	968	22.7
畑作	627	5.6	1233	7.6	582	7.1	1010	5.9
露地野菜	450	10.1	1092	8.5	450	13.2	998	8.7
施設野菜	378	16.1	1226	5.2	435	23.2	1265	9.7
露地果樹	343	2.9	982	1.9	319	2.3	1140	1.7
施設花き	476	5.9	1300	4.1	397	4.3	989	3.6
工芸作物	309	1.8	985	0.9	376	0.8	1028	1.3
茶	366	2.1	1630	1.0	436	2.6	1227	1.0
酪農	749	9.2	2142	25.5	645	7.6	2256	20.3
肉用牛肥育	1130	18.1	2731	11.4	637	3.6	2412	16.7
肉用牛繁殖	465	2.6	956	1.4	433	4.9	1581	1.5
養豚	793	0.5	2100	3.3	786	0.5	1870	2.7
採卵鶏	755	0.2	3600	1.3	1,092	0.3	1800	0.5
鶏肉	534	0.3	2819	1.6	553	0.6	1337	0.9
きのこ	454	0.7	3417	1.0	641	0.3	900	0.4
その他	398	0.9	1373	2.2	656	1.9	1211	2.4

法人経営 平均借入額	22				23 前半			
	農業近代化資金		L資金		農業近代化資金		L資金	
	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合	平均借入額	借入額割合
全体	1143	100	5110	100	914	100	3778	100
稲作	764	27.9	1419	4.9	751	40.8	1859	11.7
畑作	893	4.4	2277	2.1	999	4.3	1207	0.6
露地野菜	803	4.1	2318	2.8	760	6.6	2808	6.8
施設野菜	1204	9.0	4016	4.3	939	7.0	2808	7.9
露地果樹	952	0.7	1992	1.0	0	0.0	840	0.3
施設花き	1342	3.9	2344	1.1	834	4.1	1703	1.6
工芸作物	710	0.3	1066	0.1	575	0.7	0	0.0
茶	1169	5.0	3260	0.5	896	3.3	1322	1.1
酪農	1397	7.9	5549	13.5	1077	10.6	4322	7.4
肉用牛肥育	2201	15.5	7698	19.1	2361	8.8	4843	15.8
肉用牛繁殖	1952	1.5	4372	0.6	1500	0.9	6169	1.4
養豚	2237	3.1	8514	13.6	1759	6.5	8811	11.0
採卵鶏	2004	2.0	10029	10.3	1780	3.3	7716	9.6
鶏肉	1425	0.6	10749	7.2	400	0.2	4511	3.2
きのこ	1763	4.5	6606	4.4	870	0.5	8872	10.4
その他	1577	8.6	4304	5.8	591	2.2	3778	11.2

5 売上規模別割合

・農業近代化資金、L資金ともに売上規模の大きな農家が多く、特に、法人の売上規模1億円以上は農業近代化資金で24%、L資金で50%に達する。

第7表 借入者の売上規模（農業粗収入・売上高）別件数割合

売上高別 件数割合	個人経営				法人経営			
	農業近代化資金		L資金		農業近代化資金		L資金	
	22	23前半	22	23前半	22	23前半	22	23前半
1千万円未	23	25	9	9	5	9	3	5
1千～2千	30	31	17	18	9	14	4	3
2千～3千	18	18	20	19	7	13	4	5
3千～4千	9	10	15	13	10	12	4	6
4千～5千	6	6	11	10	12	12	6	6
5千～1億円	10	9	19	18	24	16	23	25
1億～2億円	3	1	8	9	20	14	18	21
2億円以上	1	0	3	3	14	10	38	29

平成 23 年度前半の利子助成交付対象者の経営状況と投資内容

1 農業近代化資金の投資内容

借入額別動向

- 個人は通常助成である「5 百万円以下」が半数以上を占め、法人は無利子の「5 百万円超～1 千万円以下」が多い。

第 1 - 1 表 農業近代化資金：平成 23 年度前半の借入額別件数割合

借入額別 件数割合	個人経営			法人経営			全体		
	無利子	通常助成	合計	無利子	通常助成	合計	無利子	通常助成	全体
23前半件数	631	831	1462	128	49	177	759	880	1639
割合	43	57	100	72	28	100	46	54	100
5百万円以下	3	96	55	4	92	28	3	95	53
5百万円超～1千	81	3	37	59	6	45	77	4	38
1千万円超～2千	17	1	8	26	2	19	18	1	9
2千万円超～3千				5		3	1		
3千万円超～4千				6		5	1		

(注) 2 件以上で 500 万円超になる場合は無利子と認定されるため、無利子でも「5 百万円以下」を計上した。

資金用途別動向

- 前年度までと同様、個人、法人ともに稲作、露地野菜等のトラクター、コンバインなどの農機具取得が半数を占め、残りはほとんどが温室・ハウスなどの建物・施設の取得である。無利子では家畜の購入も多い。

第 1 - 2 表 農業近代化資金：平成23年度前半の資金用途別件数割合

資金用途別 件数割合	個人経営			法人経営			全体		
	無利子	通常助成	合計	無利子	通常助成	合計	無利子	通常助成	全体
23前半件数	631	831	1462	128	49	177	759	880	1639
割合	43	57	100	72	28	100	46	54	100
土地改良	0	0	0	1	0	1	1	0	0
建物・施設取得	36	30	32	28	27	28	35	30	32
農機具取得	52	61	57	53	61	55	52	61	57
運搬用機具取得	0	5	3	0	4	1	0	5	3
果樹等植栽育成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	7	1	4	13	0	9	8	1	5
長期運転資金	3	0	2	1	0	1	3	0	1
農地取得	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	2	2	5	8	6	2	2	2

- 資金用途別平均借入額は、個人では無利子、通常助成ともに用途間で大きな違いはない。法人は無利子で新規参入者などの長期運転資金が高い。全体の借入額割合は農機具取得 51% で、建物施設の取得が 36%、家畜の購入が 8 % である。

第1-3表 農業近代化資金：平成23年度前半の資金使途別平均借入額（千円）と借入額割合

資金使途別 平均借入額 借入額割合	個人経営				法人経営				全体	
	無利子		通常助成		無利子		通常助成			
	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合
全体	7841	100	2747	100	11338	100	3404	100	5399	100
土地改良	8833	0.5	1847	0.2	15420	1.1	0	0.0	6780	0.5
建物施設取得	8742	39.9	2622	28.5	13132	32.6	4411	34.4	6034	35.7
農機具取得	7063	46.5	2959	65.7	8534	40.0	3158	56.8	4810	50.6
運搬機具取得	5400	0.1	1417	2.7	0	0.0	2385	2.9	1542	0.8
果樹植栽育成	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
家畜の購入	8898	8.3	2549	1.3	18491	20.4	0	0.0	9943	8.3
長期運転資金	8209	3.7	3060	0.1	35000	2.4	0	0.0	9111	2.5
農地取得	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	6753	1.0	1940	1.4	8647	3.6	2493	6.0	4247	1.6

経営部門別動向

- ・個人は、無利子では農機具取得の多い稲作、通常助成は温室・ハウスの多い施設野菜の割合が高い。法人は、無利子、通常助成ともにコンバイン、トラクター等の農機具取得の多い稲作が件数では半分を占める。全体では、耕種部門(稲作から茶まで)の件数割合は82%を占めるが、借入額割合では78%で、畜産の平均借入額が低下したため借入額でも高い割合となった。

1-4表 農業近代化資金：平成23年度前半の経営部門別件数割合

経営部門別 件数割合	個人経営		法人経営		全体		
	無利子	通常助成	無利子	通常助成	無利子	通常助成	全体
23前半件数	631	831	128	49	759	880	1639
割合	43	57	72	28	46	54	100
稲作	30	18	50	49	33	20	26
畑作	10	3	4	4	9	3	6
露地野菜	12	16	8	8	11	16	14
施設野菜	22	30	6	8	19	28	24
露地果樹	2	5	0	0	1	5	3
施設花き	3	7	3	8	3	7	5
工芸作物	1	1	2	0	1	1	1
茶	2	3	2	6	2	4	3
酪農	7	5	10	6	7	5	6
肉用牛肥育	5	1	5	0	5	1	3
肉用牛繁殖	3	7	1	0	3	7	5
養豚	1	0	4	2	1	0	1
採卵鶏	0	0	2	2	0	0	0
鶏肉	0	1	0	2	0	1	1
きのこ	0	0	1	0	0	0	0
その他	2	1	3	4	2	1	2

第1-5表 農業近代化資金：平成23年度前半の経営部門別平均借入額（千円）と借入額割合

経営部門別 平均借入額 借入額割合	個人経営				法人経営				全体	
	無利子		通常助成		無利子		通常助成			
	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合	借入額	割合
全体	7841	100	2747	100	11338	100	3404	100	5399	100
稲作	7375	28.3	3567	23.4	9174	40.5	3075	44.2	6086	29.4
畑作	7338	8.9	2560	3.1	12206	4.2	4450	5.3	6125	6.6
露地野菜	7633	11.9	2719	16.2	9139	6.3	3765	9.0	4687	12.0
施設野菜	7964	22.5	2295	24.7	10791	5.9	6593	15.3	4503	20.3
露地果樹	6599	1.5	2295	4.2	0	0.0	0	0.0	3188	1.9
施設花き	8530	3.8	2175	5.3	14880	4.1	1808	4.3	4374	4.3
工芸作物	6663	0.5	2702	1.3	5750	0.8	0	0.0	3992	0.8
茶	7875	2.2	2661	3.4	13867	2.9	4047	7.3	4922	2.7
酪農	9912	8.6	2909	5.4	12475	11.2	3383	6.1	7136	8.1
肉用牛肥育	7330	4.4	3761	1.8	23610	9.8	0	0.0	8573	4.6
肉用牛繁殖	7713	3.0	3294	8.9	15000	1.0	0	0.0	4461	4.1
養豚	8898	0.7	3700	0.2	20105	6.9	5000	3.0	13165	1.6
採卵鶏	18000	0.4	3840	0.2	26000	3.6	1400	0.8	15048	0.9
鶏肉	10640	0.6	2460	0.5	0	0.0	4000	2.4	5358	0.5
きのこ	7325	0.3	4570	0.2	8700	0.6	0	0.0	6980	0.3
その他	10285	2.3	2460	1.1	8163	2.2	1390	1.7	6413	2.0

農業粗収入規模別動向

- 個人では1千万台が最も多いものの、「1千万円未満」の小規模農家の資金需要もかなり高い。個人では無利子の農業粗収入の中間点が2千万円台、通常助成は1千万円台、法人では無利子が4千万台、通常助成が3千万台にあり、法人は前年より売上規模が1ランク下がった。また、個人、法人ともに借入金額の大きい無利子の方が売上規模で1ランク上位にある。

第1-6表 農業近代化資金：平成23年度前半の農業粗収入別件数割合

農業粗収入別 件数割合	個人経営		法人経営		全体		
	無利子	通常助成	無利子	通常助成	無利子	通常助成	全体
23前半件数	618	825	112	43	730	868	1598
割合	43	57	72	28	46	54	100
1千万円未満	19	29	8	12	18	28	23
1千～2千万未満	25	36	13	16	23	35	29
2千～3千万未満	19	17	12	16	18	17	18
3千～4千万未満	12	8	11	16	12	9	10
4千～5千万未満	9	4	13	12	9	5	7
5千～1億未満	13	5	18	12	14	5	9
1億～2億円未満	2	1	13	14	4	1	3
2億円以上	0	0	13	2	2	0	1

農業者戸別所得補償制度関連

- ・主食用米の生産に供するための設備資金については、農業者戸別所得補償制度（米の所得補償交付金）の対象農業者のみ無利子化措置の対象になったが、これにより無利子の適用を受けた者は無利子資金借入者全体の34%、無利子資金借入稲作農家の86%を占める。
- ・経営形態別には稲作主体農家が84%を占め、残り16%は畑作主体農家等が主食用米生産で無利子の適用を受けたケース。

第1-7表 農業近代化資金：平成23年度前半の農業者戸別所得補償制度関連での無利子適用者

経営形態別	個人経営		法人経営		全体			
	無利子	主食用米	無利子	主食用米	無利子 A	主食用米 B	割合	B/A
23前半件数	631	203	128	58	759	261	100	34
稲作	190	165	64	54	254	219	84	86
畑作	60	3	5	1	65	4	2	6
露地野菜	77	16	10	1	87	17	7	20
施設野菜	140	9	8	1	148	10	4	7
露地果樹	11	1	0	0	11	1	0	9
施設花き	22	1	4	0	26	1	0	4
工芸作物	4	0	2	0	6	0	0	0
茶	14	0	3	0	17	0	0	0
酪農	43	0	13	0	56	0	0	0
肉用牛肥育	30	1	6	0	36	1	0	3
肉用牛繁殖	19	4	1	0	20	4	2	20
養豚	4	0	5	0	9	0	0	0
採卵鶏	1	0	2	0	3	0	0	0
鶏肉	3	0	0	0	3	0	0	0
きのこ	2	0	1	1	3	1	0	33
その他	11	3	4	0	15	3	1	20

（注）経営形態の不明はその他に入れた。

- ・資金使途としては、件数割合で農機具取得が85%で、主食用米生産の経営改善に貢献している。

第1-8表 農業近代化資金：平成23年度前半の農業者戸別所得補償制度関連での無利子適用者

資金使途別	個人経営		法人経営		全体			
	無利子	主食用米	無利子	主食用米	無利子 A	主食用米 B	割合	B/A
23前半件数	631	203	128	58	759	261	100	34
土地改良	3	0	1	0	4	0	0	0
建物・施設取得	226	26	36	9	262	35	13	13
農機具取得	326	175	68	48	394	223	85	57
運搬用機具取得	1	1	0	0	1	1	0	100
果樹等植栽育成	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	46	0	16	1	62	1	0	2
長期運転資金	22	1	1	0	23	1	0	4
農地取得	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	0	6	0	13	0	0	0

2 スーパーL資金の投資内容

借入額別動向

- 個人、法人ともに「5百万円超～1千」が最も多く、半数を占める。法人では、高額投資は割合的には前年度より減少した（前年度は年度末に高額資金借入者が増えたことも要因）。

第2-1表 L資金：平成23年度前半の借入額別件数割合

借入額別件数割合	個人経営	法人経営	全体
23前半件数			
5百万円以下	1	0	1
5百超～1千万円以下	60	35	52
1千超～2千万円以下	26	26	26
2千超～3千万円以下	8	15	10
3千超～4千万円以下	2	4	2
4千超～5千万円以下	1	5	2
5千超～1億円以下	2	8	3
1億円超	1	7	3

（注）他の申請案件と併せて500万円超になる場合は認定されるため「5百万円以下」も計上した。

資金用途別動向

- 件数割合では、個人は農地取得が4割で規模拡大に貢献しており、法人は建物・施設が半数を占める。
- 平均借入額については、個人は家畜の購入、法人は建物・施設が最も高い。
- 借入額割合については、個人は農地取得が多く、法人では建物・施設が半数を占め、全体では建物・施設が4割を占める。

第2-2表 L資金：平成23年度前半の資金用途別件数割合、平均借入額（千円）、借入額割合

件数割合 平均借入額 借入額割合	個人経営			法人経営			全体		
	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合
全体	100%	13403	100%	100%	37781	100%	100%	20751	100%
土地改良	0	5100	0.0	1	52233	0.8	0	36522	0.5
建物・施設取得	15	22449	25.9	24	74697	48.3	18	43603	38.2
農機具取得	15	9146	10.5	11	9506	2.9	14	9234	6.3
運搬用機具取得	0	6750	0.1	0	21600	0.2	0	11700	0.1
果樹等植栽育成	0	0	0.0	0	4000	0.0	0	4000	0.0
家畜の購入	9	24369	16.2	13	43994	15.4	10	32048	15.7
長期運転資金	1	12433	1.1	1	12634	0.5	1	12505	0.7
農地取得	42	10686	33.3	14	20291	7.3	33	11864	19.0
その他	17	10182	12.9	35	26853	24.7	22	17988	19.4

経営部門別動向

- ・件数割合では、個人は稲作、酪農が依然多いものの、法人は稲作、肉用牛肥育、露地野菜が多い。
- ・平均借入額では、個人は前年度大きかった採卵鶏、鶏肉、きのこが低下したが他の経営部門はほぼ前年同になった。借入額割合は稲作、酪農が高い。
- ・法人の平均借入額も、個人同様、採卵鶏、鶏肉、きのこが低下したため、畜産の借入割合は48%（前年度64%）に低下した。借入額割合は稲作が大きく増え、肉用牛肥育と稲作、養豚が高い。

第2 - 3表 L資金：平成23年度前半の経営部門別平均借入額（千円）と借入額割合

件数割合 平均借入額 借入額割合	個人経営			法人経営			全体		
	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合	件数 割合	平均 借入額	借入額 割合
全体	100%	13403	100%	100%	37781	100%	100%	20751	100%
稲作	31	9682	22.7	24	18593	11.7	29	11876	16.7
畑作	8	10100	5.9	2	12066	0.6	6	10273	3.0
露地野菜	12	9977	8.7	9	28080	6.8	11	14540	7.6
施設野菜	10	12648	9.7	11	28081	7.9	10	17397	8.7
露地果樹	2	11400	1.7	1	8400	0.3	2	10686	1.0
施設花き	5	9891	3.6	4	17033	1.6	4	11605	2.5
工芸作物	2	10281	1.3	0	0	0.0	1	10281	0.6
茶	1	12267	1.0	3	13220	1.1	2	12791	1.1
酪農	12	22564	20.3	6	43222	7.4	10	26449	13.2
肉用牛肥育	9	24117	16.7	12	48434	15.8	10	32998	16.2
肉用牛繁殖	1	15813	1.5	1	61690	1.4	1	26400	1.5
養豚	2	18701	2.7	5	88106	11.0	3	54523	7.2
採卵鶏	0	18000	0.5	5	77156	9.6	2	67816	5.5
鶏肉	1	13371	0.9	3	45111	3.2	1	31225	2.1
きのこ	1	9000	0.4	4	88715	10.4	2	68787	5.9
その他	3	12114	2.4	10	41225	11.2	5	30309	7.3

売上高別動向

- ・L資金の売上規模は農業近代化資金より1ランク上位にある。個人は売上高の中間点が3千万円台、法人は「5千万～1億円未満」にあり、法人は1億円以上が半数を占める。

第2 - 4表 L資金：平成23年度前半の売上高件数割合

売上高別件数割合	個人経営	法人経営	全体
23前半件数	780	308	1088
1千万円未満	9	5	8
1千～2千万円未満	18	3	14
2千～3千万円未満	19	5	15
3千～4千万円未満	13	6	11
4千～5千万円未満	10	6	9
5千～1億万円未満	18	25	20
1億～2億万円未満	9	21	12
2億万円以上	3	29	10

農業者戸別所得補償制度関連

- ・農業者戸別所得補償制度（米の所得補償交付金）の対象農業者として、主食用米生産で無利子の適用を受けた者は無利子資金借入者全体の29%、無利子資金借入稲作農家の87%を占める。
- ・経営形態別には稲作主体農家が87%を占め、残り13%は畑作主体農家等が主食用米生産で無利子の適用を受けたケース。

第2-5表 L資金：平成23年度前半の農業者戸別所得補償制度関連での無利子適用者

経営形態別	個人経営		法人経営		全体			
	無利子	主食用米	無利子	主食用米	無利子A	主食用米B	割合	B/A
23前半件数	783	267	339	56	1122	323	100	29
稲作	245	230	81	52	326	282	87	87
畑作	62	5	6	0	68	5	2	7
露地野菜	90	15	31	0	121	15	5	12
施設野菜	81	10	36	1	117	11	3	9
露地果樹	16	0	5	0	21	0	0	0
施設花き	38	2	12	1	50	3	1	6
工芸作物	13	0	0	0	13	0	0	0
茶	9	0	10	0	19	0	0	0
酪農	95	0	22	0	117	0	0	0
肉用牛肥育	73	2	42	0	115	2	1	2
肉用牛繁殖	10	1	3	0	13	1	0	8
養豚	15	1	16	0	31	1	0	3
採卵鶏	3	0	16	0	19	0	0	0
鶏肉	7	0	9	0	16	0	0	0
きのこ	5	0	15	0	20	0	0	0
その他	21	1	35	2	56	3	1	5

（注）経営形態の不明はその他に入れた。

- ・資金使途としては、件数割合で農地取得が個人が多いため58%、農機具取得が29%で、主食用米生産の規模拡大と経営改善に貢献した。

第2-6表 L資金：平成23年度前半の農業者戸別所得補償制度関連での無利子適用者

資金使途別	個人経営		法人経営		全体			
	無利子	主食用米	無利子	主食用米	無利子A	主食用米B	割合	B/A
23前半件数	783	267	339	56	1122	323	100	29
土地改良	1	0	2	0	3	0	0	0
建物・施設取得	122	24	83	11	205	35	11	17
農機具取得	119	72	39	22	158	94	29	59
運搬用機具取得	2	0	1	1	3	1	0	33
果樹等植栽育成	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	70	1	45	0	115	1	0	1
長期運転資金	9	0	5	0	14	0	0	0
農地取得	326	166	46	21	372	187	58	50
その他	134	4	118	1	252	5	2	2

3 資金使途と経営部門の関係

(1) 農業近代化資金

ア 個人経営

・最も多いのは農機具取得で、稲作、露地野菜、施設野菜等のコンバイン、トラクターが中心となっている。

建物・施設は施設野菜、施設花きの温室・ビニールハウスとその付属設備が多い。家畜の購入は肉用牛肥育で多い。

第3-1表 農業近代化資金(個人経営):平成23年度前半の資金使途別経営部門:実数

個人経営 資金使途 件数	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
土地改良	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6
建物・施設	39	8	36	255	22	55	4	5	21	0	9	2	0	6	1	11	474
農機具取得	290	78	157	98	25	13	9	36	44	10	62	1	1	2	0	7	833
運搬用機具	6	1	14	11	5	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	45
果樹等植栽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	0	0	2	1	0	0	0	0	16	28	8	2	1	0	0	0	58
長期資金	1	0	1	18	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	23
農地取得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	1	2	2	0	6	0	0	1	3	1	0	0	0	2	1	23
合計	340	88	213	386	53	78	15	43	85	41	81	5	2	8	3	21	1462

イ 法人経営

・法人経営でも稲作の農機具取得が最も多く、建物・施設は稲作と施設野菜が多い。耕種部門が中心であるのは個人と同じである。

第3-2表 農業近代化資金(法人経営):平成23年度前半の資金使途別経営部門:実数

法人経営 資金使途 件数	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
土地改良	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
建物・施設	16	1	5	8	0	5	0	2	3	0	1	3	2	1	0	2	49
農機具取得	68	6	8	2	0	0	2	3	5	0	0	0	0	0	1	3	98
運搬用機具	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
果樹等植栽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	0	0	0	1	0	0	0	0	8	6	0	1	0	0	0	0	16
長期運転資金	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
農地取得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	10
合計	88	7	14	12	0	8	2	6	16	6	1	6	3	1	1	6	177

(2) スーパーL資金

ア 個人経営

・資金使途別にみると、農地取得が4割を占め、その多くが稲作である。畑作はほとんどが農地取得であり、露地野菜、酪農でも農地取得の割合が高い。

建物・施設は施設野菜、酪農が多い。農機具取得では稲作が多く、半数を占める。

第3-3表 L資金(個人経営):平成23年度前半の資金使途別経営部門:実数

個人経営 資金使途 件数	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
土地改良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
建物・施設	23	1	10	31	3	11	3	0	26	3	1	6	0	1	0	3	122
農機具取得	68	4	25	6	0	0	1	2	10	3	2	0	0	0	0	0	121
運搬用機具	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
果樹等植栽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜の購入	1	0	0	0	0	0	0	0	14	48	4	0	1	0	0	2	70
長期運転資金	1	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
農地取得	139	56	51	14	8	4	9	3	33	4	0	1	0	0	0	7	329
その他	16	1	5	23	5	22	0	4	12	15	3	8	2	5	5	8	134
合計	248	62	92	81	16	38	13	9	95	73	10	15	3	7	5	21	788

イ 法人経営

・資金使途別では、飼料代、短期運転資金、育成費等の「その他」が多く、建物・施設が次いで多い。法人では農地取得は少ないものの、稲作、露地野菜、酪農が多い。

経営分類の「その他」が多いのは、加工、受託作業等のために資金を借入れた法人で経営形態が明確に把握できない法人が多いことによる。

第3-4表 L資金(法人経営):平成23年度前半の資金使途別経営部門:実数

法人経営 資金使途 件数	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
土地改良	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
建物・施設	12	0	3	11	1	3	0	2	3	7	1	6	9	3	9	13	83
農機具取得	25	1	3	1	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	3	39
運搬用機具	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
果樹等植栽	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
家畜の購入	0	0	0	0	0	0	0	0	9	34	1	0	1	0	0	0	45
長期運転資金	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
農地取得	21	2	9	4	0	1	0	0	5	0	0	0	1	1	0	2	46
その他	22	2	13	19	3	7	0	6	4	1	0	9	4	5	6	17	118
合計	81	6	31	36	5	12	0	11	22	42	3	16	16	9	15	35	340

4 建物・施設取得の経営形態別内訳

農業近代化 資金 個人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
農舎、倉庫	20	3	14	11	3	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	2	58
畜舎	1	1	1	0	0	0	0	0	13	0	6	2	0	3	0	0	27
温室、ハウス	11	3	15	239	4	54	0	3	0	0	1	0	0	2	1	7	340
果樹棚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加工・作業所	3	0	1	2	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	16
貯蔵乾燥施設	4	0	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
糞尿処理施設	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
その他	0	1	1	3	8	0	1	0	4	0	0	0	0	1	0	0	19
合計	39	8	36	255	22	55	4	5	21	0	9	2	0	6	1	11	474

農業近代化 資金 法人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
農舎、倉庫	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	11
畜舎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	0	5
温室、ハウス	4	0	2	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	19
果樹棚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加工・作業所	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
貯蔵乾燥施設	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
糞尿処理施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
その他	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	16	1	5	8	0	5	0	2	3	0	1	3	2	1	0	2	49

L資金 個人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
農舎、倉庫	18	1	6	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30
畜舎	0	0	0	0	0	0	0	0	23	2	1	5	0	1	0	0	32
温室、ハウス	1	0	2	30	1	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	47
果樹棚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加工・作業所	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
貯蔵乾燥施設	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
糞尿処理施設	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
合計	23	1	10	31	3	11	3	0	26	3	1	6	0	1	0	3	122

L資金 法人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
農舎、倉庫	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	9
畜舎	0	0	0	1	0	0	0	0	2	6	1	5	6	3	0	0	24
温室、ハウス	1	0	0	7	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	15
果樹棚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加工・作業所	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4	11
貯蔵乾燥施設	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
糞尿処理施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	5
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5	4	13
合計	12	0	3	11	1	3	0	2	3	7	1	6	9	3	9	13	83

5 農機具取得の経営形態別内訳

農業近代化 資金 個人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
トラクター	88	41	97	50	3	6	4	7	12	4	28	0	0	1	0	0	341
田植機	20	1	5	3	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	34
収穫用農機具	15	24	25	13	12	1	4	22	24	5	29	0	0	1	0	1	176
コンバイン	124	9	17	13	6	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4	178
乾燥機	14	1	2	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	24
出荷用選別機	22	0	5	6	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	38
給餌機	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
搾乳機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製茶機	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	7	2	6	9	3	2	1	2	2	0	3	1	0	0	0	1	39
合計	290	78	157	98	25	13	9	36	44	10	62	1	1	2	0	7	833

農業近代化 資金 法人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用肥育	肉用繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
トラクター	15	2	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	26
田植機	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
収穫用農機具	6	1	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	14
コンバイン	29	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	34
乾燥機	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
出荷用選別機	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
給餌機	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
搾乳機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製茶機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	68	6	8	2	0	0	2	3	5	0	0	0	0	0	1	3	98

L資金 個人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
トラクター	22	2	17	3	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	50
田植機	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
収穫用農機具	1	2	4	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	12
コンバイン	33	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
乾燥機	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
出荷用選別機	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
給餌機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
搾乳機	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
製茶機	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
合計	68	4	25	6	0	0	1	2	10	3	2	0	0	0	0	0	121

L資金 法人経営	稲作	畑作	露地野菜	施設野菜	露地果樹	施設花き	工芸作物	茶	酪農	肉用牛肥育	肉用牛繁殖	養豚	採卵鶏	鶏肉	きのこ	その他	全体
トラクター	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
田植機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収穫用農機具	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
コンバイン	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
乾燥機	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
出荷用選別機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
給餌機	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
搾乳機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製茶機	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
合計	25	1	3	1	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	3	39

(資料) 本分析における資金使途の例示 (農業近代化資金、L資金共通)

	資金使途	整備内容	主な例示
1	土地改良		農地造成、耕地整備、用排水施設整備、暗渠(布設工事)、灌水施設(ハウス外)
2	建物・施設の取得	農舎、倉庫	機械収納庫
		畜舎	畜舎内施設整備も含む(バークリーナー)
		温室、ハウス	温室内整備も含む(光合成促進機、育成管理施設、ボイラー)
		果樹棚	
		加工・作業所	製茶建物、アイス工房、精米プラント
		貯蔵乾燥施設	ライスセンター、タバコ乾燥
		糞尿処理施設	堆肥舎、堆肥化装置
	その他	きのご栽培施設、防霜扇、災害被害修理、柵、売店、スプリンクラー、牛群管理システム	
3	農機具の取得	トラクター	
		田植機	
		収穫用農機具	防除機、掘取機、刈取機、乗用管理機、摘茶機、ハーベスター、スプリンクラー、ホイールローダー
		コンバイン	
		乾燥機	
		選別機	出荷用選別機、包装機、洗浄機
		給餌機	
		搾乳機	
		製茶機	
	その他	農作業以外の機械(籾すり機、精米機、ボイラー、コンベア、ヘリコプター)	
4	運搬用器具の取得		トラック、ワゴン
5	果樹植栽・育成		
6	家畜の購入		
7	長期運転資金		出資金、リース料、権利金、研修費用、開発費
8	農地取得		
9	その他	農業用資材の取得	コンテナ、ほだ木、菌床、防風ネット、球根・苗、育成費、飼料代、短期的なもの、井戸